

大妻女子大学草稿・テキスト研究所 調査カード (刊本)

ジャンル
和歌・注釈

補助カード
有・無

書名

百人一首嵯峨能山婦三 ↓(18)へ

所蔵

大妻

登録番号
911.147
Sa25
1~3

設置

(1)外題 (書・書) (書・刷) (原・後) (年) (中) (単・双) (無)

嵯峨能山婦三

上
上巻

(2)装帧

三巻 三冊 (袋)・懐紙・綴

(整版)・古活字他 (全) 残存
第一巻 () 欠存

書型

大・半・中・小・横・升

寸法 (表紙) 第一巻
縦 25.7 cm × 横 17.8 cm

*中巻：嵯峨乃山婦三中
*下巻：嵯峨能山婦三下
上中下 墨流し

(3)表紙

納戸 色 文様

布目

(6)挿絵
無・丹緑・墨印・色刷

(7)内題

(見返し) ナツ

(序) 嵯峨能山婦

(目録) ナツ

(巻首) (尾) (跋) ナツ

(18)へ

(4)原題簽

第一巻 縦 17.9 cm × 横 3.9 cm

(5)本文匡郭 (單・双・無) 字高・界線
第一巻 縦 20.3 cm × 横 14.0 cm

(8)用字 ↓(18)へ

序文 漢・片・平・他 行数

(9)作者 ↓(18)へ
石見國濱田家人 藤原彦麻呂

本文 漢・片・平・他 行

跋文 漢・片・平・他 行

(10)絵師

(11)序文

(序) 源元凱

(自序) 藤原彦麻呂

(13)刊記 (最終丁末尾・裏見返し)

書肆

本町十軒店 英平吉
西国吉川町 山田佐助

茅之飯庵蔵板

製本所 銀屋町二丁目 松屋要助

(12)跋文

(跋一) 木川猶子 一子

(跋二) 文化十三年初冬 村上真澄

(14)広告・蔵版目録 () 丁

↓(18)へ

(15)旧蔵者 (印)

吉田精一蔵書

陽米 55.5cm × 15.5cm
序文 下方1/4側
上巻 中巻 下巻

(16) 柱刻

さうの山ふみ

序／自序／凡例／上／中／下／跋

頁数

(17) 丁数・挿絵

卷数	丁数	絵・見開き	絵・半葉	欠丁・破損等
一	32.5	0 画	0 画	序・1頁〜3頁、自序・4頁〜5頁、凡例・6頁〜7頁、本文・8頁〜33頁
二	30.5	0 画	0 画	本文・1頁〜31頁
三	32	0 画	0 画	本文・1頁〜26頁、後書き・26頁、跋(木川)・27頁〜28頁、跋(村上)・29頁〜30頁、葦之假蓑老翁著述書目・31頁〜32頁、刊記・32頁

(18) 備考 (書入れ・識語・所見 合綴や補写等)

(8) 用字

序文 源……漢・平 8行 / 藤原……漢片・平 7行
 本文 漢片・平 12行
 跋文 木川……漢・平 7行 / 村上……漢片 7行

(7) 内題

(巻首) 百人一首嵯峨能山婦三(上巻) / 百人一首嵯峨能山ふみ(中巻)
 (尾) 嵯峨の山婦三(上巻) / さうの山ふみ(中巻) / 嵯峨能山婦美(下巻)

(14) 広告・蔵版目録 (15丁)

<p>華之假蓑老翁著述書目 二冊 諸國名義考 六十六國二島の名のちこりより若名に八へられ好字にあらためられ、事など諸書と別て記されたり</p>	<p>嵯峨の山ふみ 三冊 百人一首の抄世にめまたあれど金き注解はなきとこれハ諸抄のよきと捨なありと捨たらざるを極む誤れりと正して言すくんに解やすきとむねとせられたり</p>	<p>神道問答 一冊 世の神賦など仏をいみまぐるは儒表すする故也備とよくわるハ仏にへつらへん故也是ハ儒仏を混はれてたに、皇朝の御史も立てやとあきらかに正し、御史にやむける説ハ悉く破たる自問自答なり</p>	<p>勢語圖抄 七冊 諸抄のありさま正しよろしきとらみづから思ひ得られたるを記して衣服器物草木の圖をあらはされたり</p>	<p>枕草子圖説 十冊 これも勢語に教ひて衣服の制作色目木蔭物草木宮殿山陵など圖をあらはされたり</p>
---	--	--	---	--

(19) 複写

有・無 コピー・写真・マイクロ
 (全・挿絵・広告・蔵版目録)

大妻女子大学草稿・テキスト研究所 調査カード (刊本)

ジャンル

補助カード 有・無

書名

百人一首媛能山婦三

(1)外題(簽・書)(書・刷)(原・後)(左・中)(単・双・無)

所蔵

(2)装幀
卷冊袋・懷紙・綴

登録番号

整版・古活字他
全・()欠存
残存

書型

大・半・中・小・横・升

寸法(表紙) 第 卷
縦 cm × 横 cm

(3)表紙

色 文様

(6)挿絵
無・丹緑・墨印・色刷

(7)内題

(見返し)

(序)

(目録)

(卷首)

(尾)

(跋)

(4)原題簽

第 卷 縦 cm × 横 cm

(5)本文匡郭(単・双・無) 字高・界線
第 卷 縦 cm × 横 cm

(8)用字

行数

(9)作者

序文 漢・片・平・他

本文 漢・片・平・他

跋文 漢・片・平・他

(10)絵師

(13)刊記 (最終丁末尾・裏見返し)

(12)跋文

(14)広告・蔵版目録 () 丁

(15)旧蔵者 (印)

(16) 柱刻

(17) 丁数・挿絵

巻数	丁数	絵・見開き	絵・半葉	欠丁・破損等
		画	画	
		画	画	
		画	画	
		画	画	
		画	画	
		画	画	
		画	画	
		画	画	
		画	画	
		画	画	
		画	画	

(18) 備考 (書入れ・識語・所見 合綴や補写等)

(14)

竹箒	一冊 ある備者ははかりもなく 皇孫とあしきまにのりたりみだりなる外戎の聖人を事みたる文とくわかれたり
かハほり	一冊 ある歌学者日本書紀の文とあやしく混ぜしめて古事記にめぐらして家師の古事記伝をそしりたるをにくみてその入に書で贈りし者なり
改正神代紀	二冊 錯乱と正し誤字と改の後人の加筆を削りて音読すべしにハらうとつけられたり
源氏難語抄	十冊 物語中の解びたき詞に上書と引て於と例とを挙ていとやすらかにわかれたり
あーのかりほ	初編八冊 補遺 各 一冊 としころよまれたる長歌みじかりに文詞祝詞序跋の於の集なり
かたみさ	初編十冊 学のかとまよくにおもひ出るにまかせて心のまよに書すはれし随筆なり
心の原	一冊 伊勢の大御神に來り花のさかりに都の名所遊覽せられし記行なり
衣子の日記	一冊 鹿島香取筑波など遊覽せられし記行なり

(18)

(凡例) 文化十三年十月 藤原彦麻呂 中卷(二卷)の最終丁の丁付け「〇三十一」の「三」欠落。

(19)

(19) 著者は 国書総目録では「斎藤彦摩呂」。
(18) 書名は 国書総目録では「百人一首嵯峨の山ふみ」(列名「嵯峨の山ふみ」)。

(19) 複写

有・無 コピー・写真・マイクロ
(全・挿絵・広告・蔵版目録)